

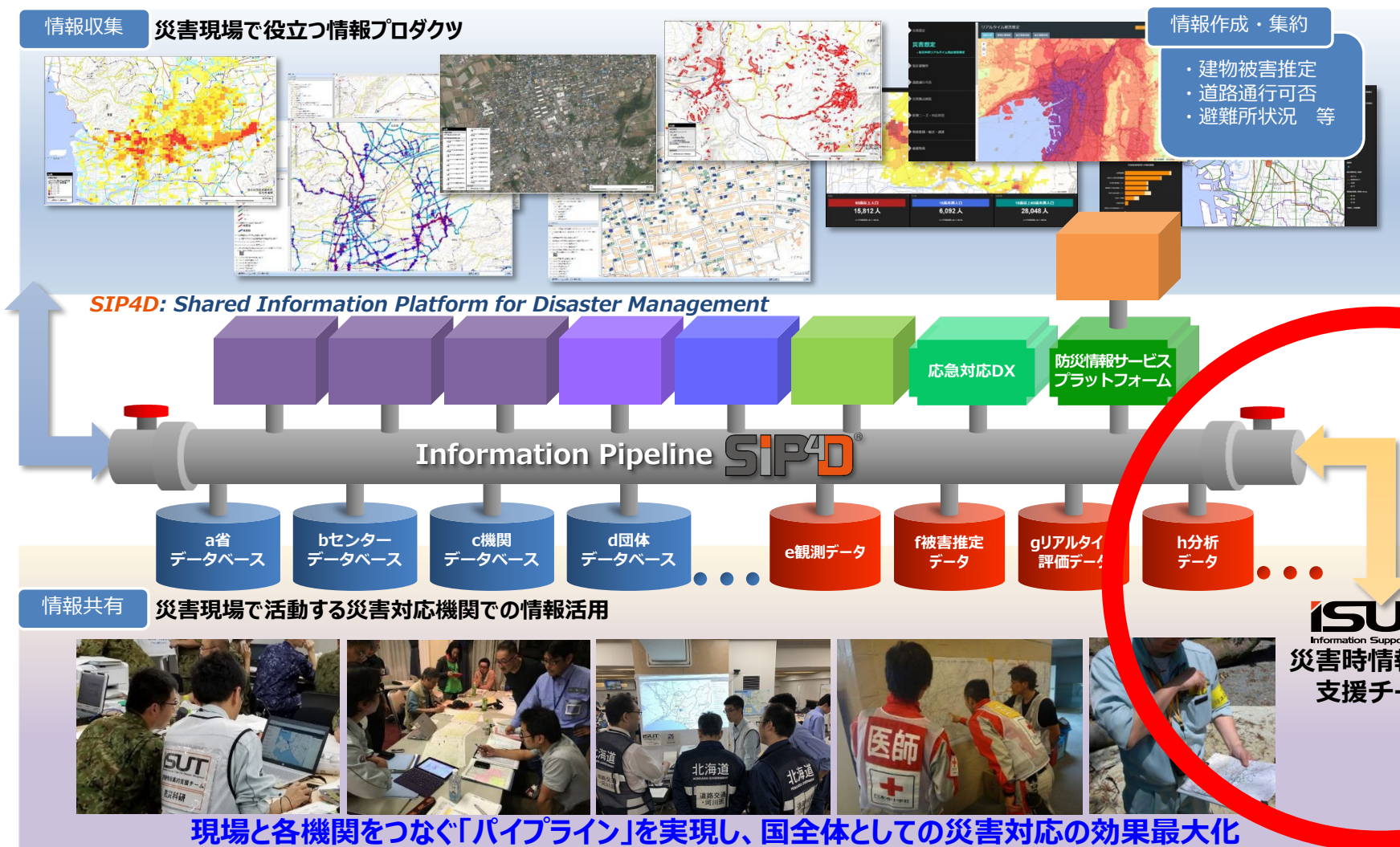
生きる、を支える科学技術



～災害対応組織の多様な活動を情報で支援する～

国立研究開発法人防災科学技術研究所
遊佐 暁

SIP4DとISUTの関係



SIP4DとISUTの関係



災害時情報集約支援チーム

内閣府防災担当と防災科研による協働チームとして
2018年試行開始、2019年より正式稼働
現地災対本部に派遣され情報支援を行う

災对本部現地にて情報の集約・生成・提供を実行

災害対応情報

- 避難所情報
- 物資拠点情報
- ボランティア情報

ハザード情報

- 気象関連情報
- 地震情報
- 洪水情報 等

被災関連情報

- 人的/建物被害
- 交通/通信被害
- ライフライン被害

ISUT現場集約情報

- 孤立地域
- 倒木被害
- 突発的発生事象情報

① 集約

SIP4D®

基盤的防災情報流通ネットワーク

府省庁、都道府県、指定公共機関等の災害情報システム間をつなぐシステム。他機関の災害情報システムと相互に情報連携が可能。

各種情報は、システム連携により自動で集約される情報と、ISUTが現地で直接入手し、集約される情報とがあります。



② 生成



③ 提供

災害対応機関限定

ISUT SITE
Powered by SIP4D

ISUTサイト上で災害情報を重ね合わせ・地図化

ISUTに相談しながら、ニーズに応じた地図を作成することも可能です。



災害が起きたらISUTはどう動くか

移動

災害発生時、各交通機関や陸上自衛隊のヘリコプターにて速やかに現地へ移動。



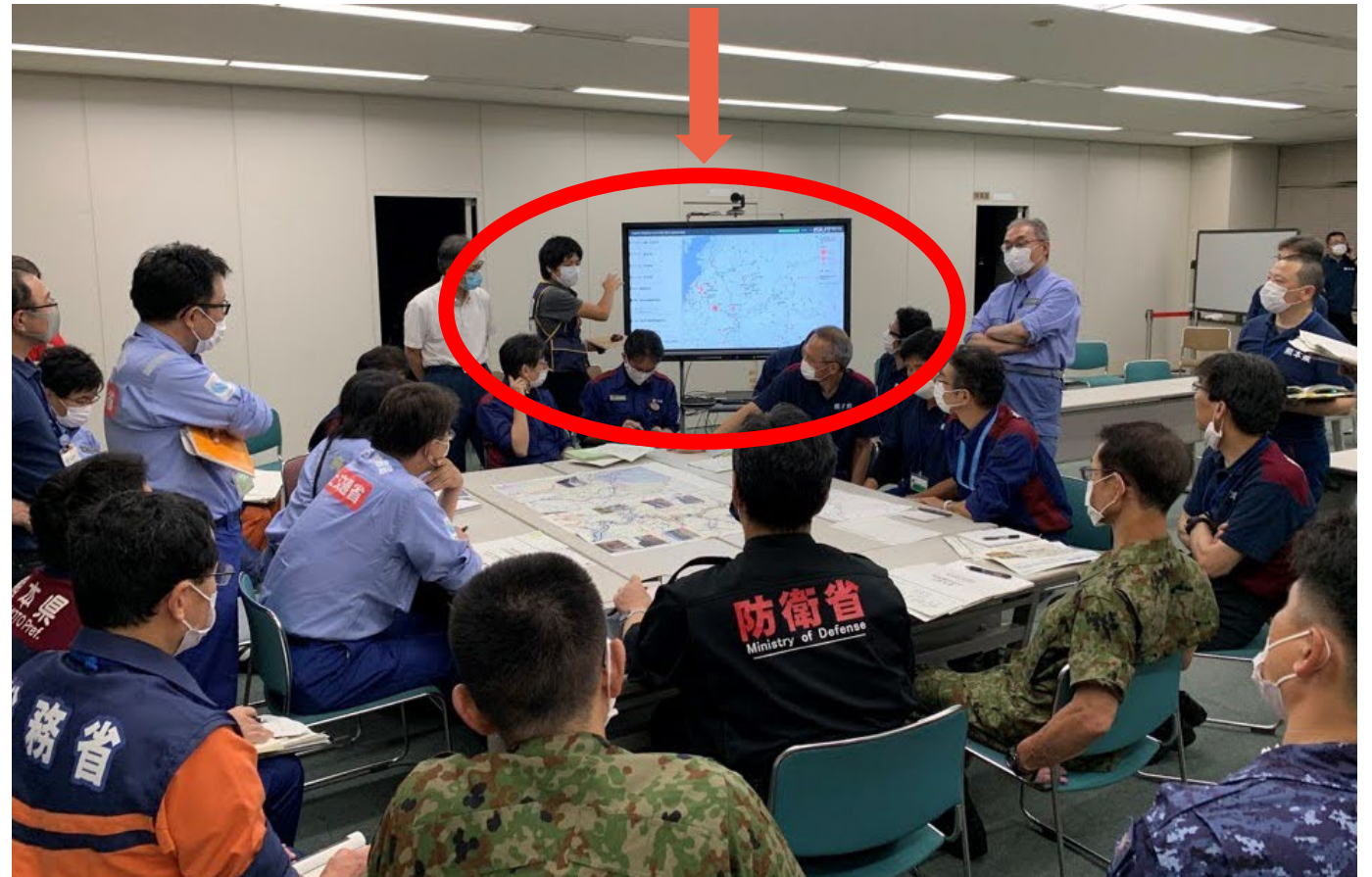
生きる、を支える科学技術



令和3年福島県沖地震の際の移動-
陸上自衛隊第1ヘリコプター団Facebook投稿より

現地支援

ISUT-SITEの情報を基に、対応方針を議論
作戦実行に向けた情報を共有



令和元年東日本台風（長野県）の事例 ～災害廃棄物への対応～

千曲川破堤点付近の状況

町中にあふれる災害廃棄物

その対応が急務、いったい誰がどのように…



令和元年東日本台風（長野県）の事例 ～災害廃棄物への対応～

ISUTの活動

■ 廃棄物集積地点情報

■ 災害廃棄物処理状況

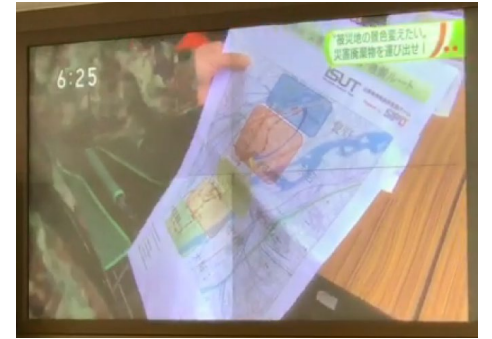
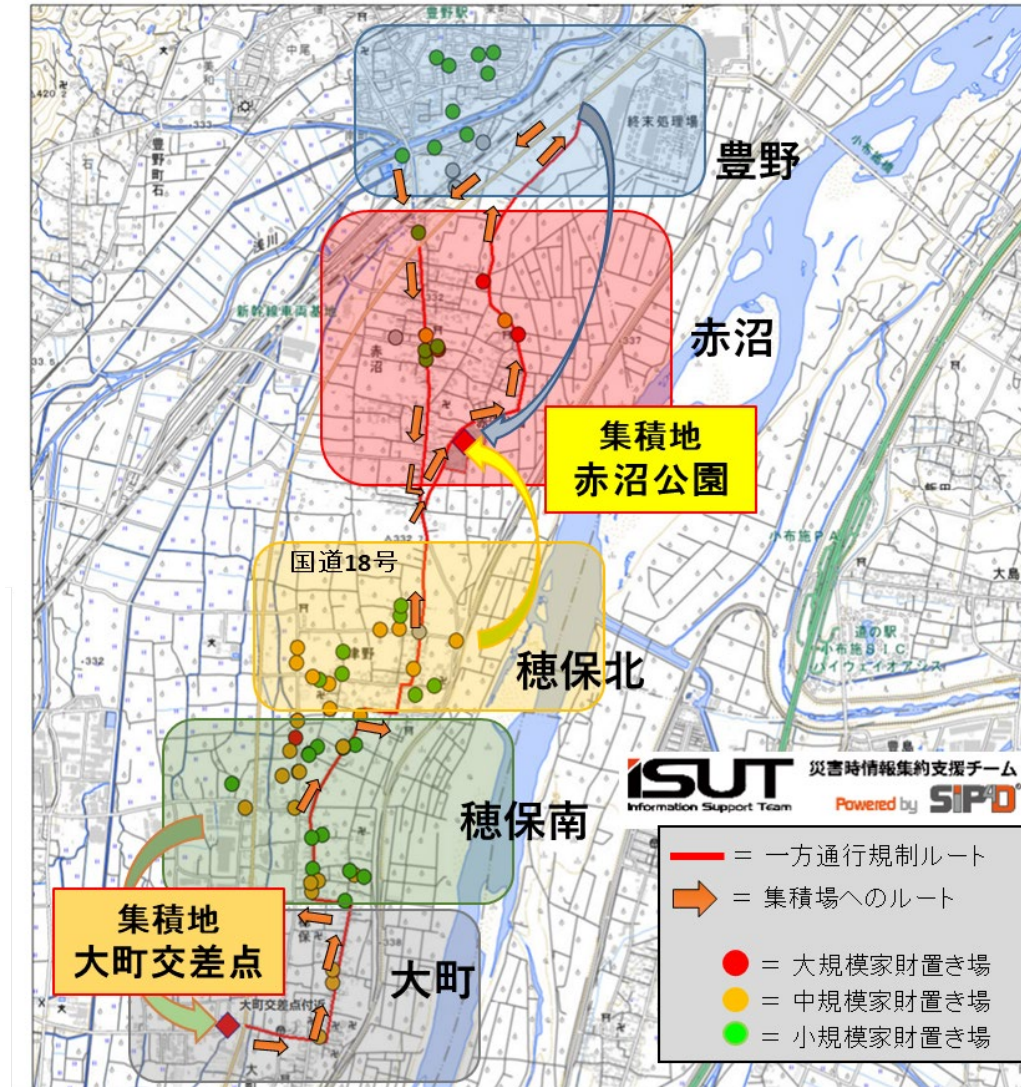
① **集約**：ボランティア、市民からSNSを通じ地点の分布と規模を収集



② **生成**：地点分布を基に、集積地を協議で決め、地図化



③ **提供**：ISUT-SITEで提供するとともに、紙地図でも配布。本部・対応現地で活用



2019年10月28日
NHK長野「イブニング信州」より



この大規模な活動はOne Naganoと名付けられ
国会においても紹介された

令和2年7月豪雨（熊本県）の事例 ～孤立集落への対応～

ISUTの活動

■ 孤立集落地点情報

■ 集落ライフライン情報

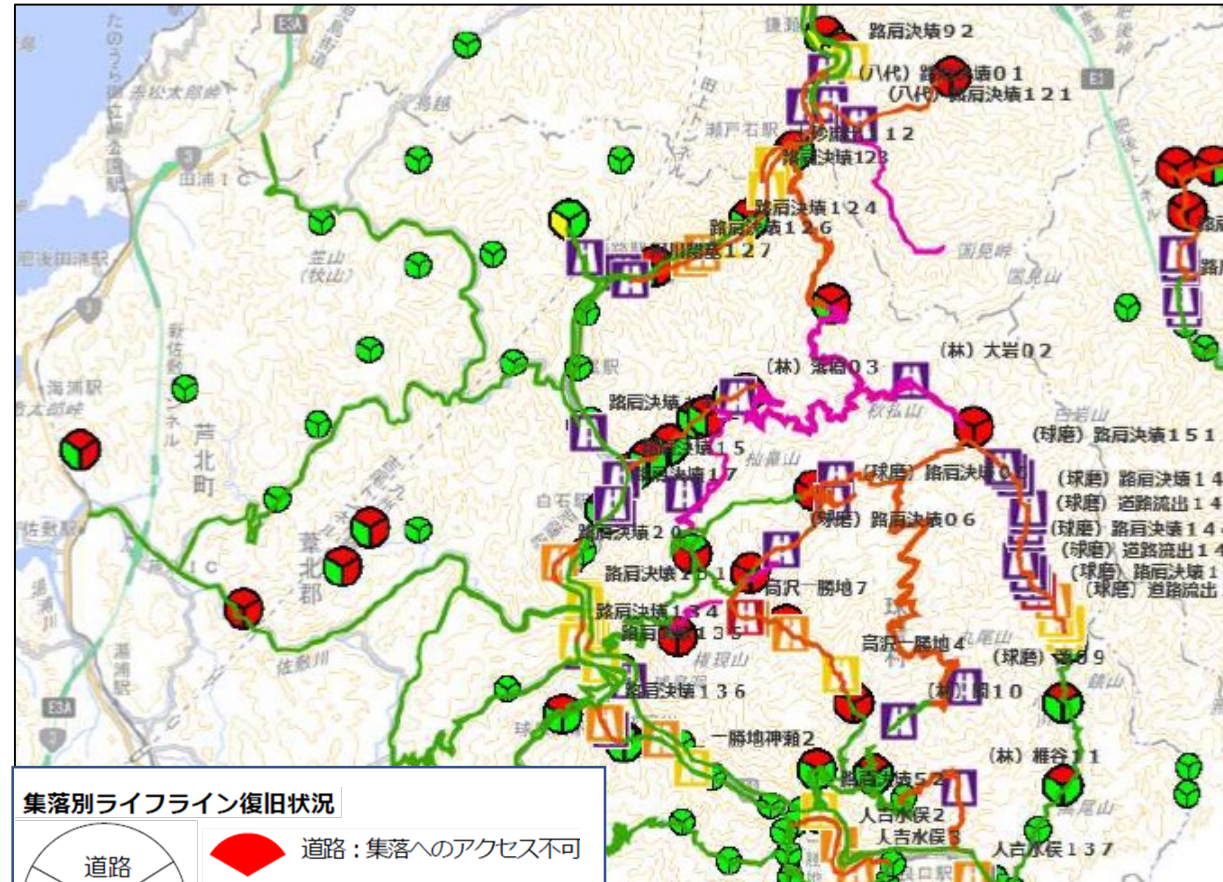
① **集約**：各省庁、県、インフラ事業者から集落孤立・ライフライン状況を収集



② **生成**：集落ごとにライフライン状況と孤立解消見込み情報を地図化



③ **提供**：ISUT-SITEで提供するとともに、紙地図でも配布。本部会議にて活用



関係機関での対策会議



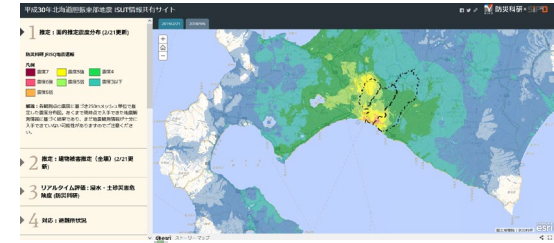
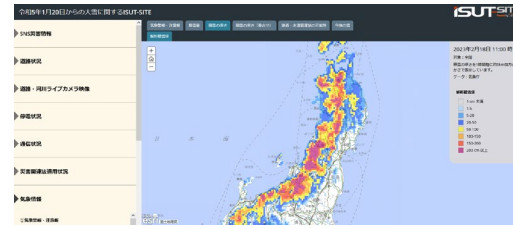
災対本部での情報提供

これまでのISUTの活動

H30年以降5年間で

10以上の災害

15以上の道府県に派遣



令和4年12月からの大雪

北海道胆振東部地震

令和2年/令和3年
福島県沖地震

令和元年東日本台風

令和元年房総半島台風

平成30年大阪府北部を
震源とする地震

平成30年7月豪雨

令和2年7月豪雨

令和元年8月の前線に伴う
大雨/令和3年8月の大雨

令和元年6月29日からの大雨

令和3年7月1日からの大雨
令和4年台風15号



生きる、を支える科学技術

SCIENCE FOR RESILIENCE



防災科研